

- 問1 短期間で広範囲にわたって積み重なるため、離れた場所の地層が同じ時期にできたものか比較する際、基準となる地層を何という？
- 問2 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
- 問3 マグマが地表付近で冷えてできる火山岩のうち、代表的な岩石として挙げられるものを一つ答えよ。
- 問4 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？
- 問5 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？
- 問6 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？
- 問7 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？
- 問8 マグマの中に溶け込んでおり、噴火の際に粘り気の強いマグマから抜けにくくなることで、爆発的な噴火を引き起こす原因となるものを何という？
- 問9 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？
- 問10 地震発生時に観測地点へ先に到達する、最初の小さな揺れのことを何という？
- 問11 火山灰の微細な結晶や粒子を観察する際に用いる、拡大してもピントが合いやすい顕微鏡を何という？
- 問12 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？
- 問13 マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？
- 問14 特定の地質時代にのみ繁栄し、その地層がいつの時代のものかを決定づける化石を何という？
- 問15 火山岩特有の、大きな結晶と小さな結晶からなる組織を何という？
- 問16 地震による地面の揺れを感知し、その到着時刻や強さを記録するための観測機器を何という？
- 問17 堆積物が長い年月をかけて押し固められ、岩石になる過程のことを何という？
- 問18 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 問19 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 問20 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？
- 問21 過去に繰り返し活動しており、今後も地震を引き起こす可能性のあるものを何という？

- 問1 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？
- 問2 マグマが地下深くで時間をかけてゆっくり冷えて固まることでできる、粒の大きさがそろった組織を持つ岩石を何という？
- 問3 泥岩や砂岩と同様に、土砂や生物の死骸などが水底に蓄積して固まることでできる岩石の総称を何という？
- 問4 火山が噴火し、地表付近で急激に冷やされた岩石の中で、比較的大きく育った結晶のことを何という？
- 問5 マグマが地表付近で冷えてできる火山岩のうち、代表的な岩石として挙げられるものを一つ答えよ。
- 問6 地震波のうち、伝わる速さが速い波によって生じる最初の小さな揺れを何という？
- 問7 広い範囲に分布しており、地質時代を決定する際の基準となる特定の地層のことを何という？
- 問8 地震において、主要動の前に観測される最初の小さな揺れを何という？
- 問9 地震そのもののエネルギーの大きさを示す尺度を何という？
- 問10 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
- 問11 湖や海底に運ばれた細かい土砂が堆積し、固まることでできた堆積岩のうち、泥から成る岩石を何という？
- 問12 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 問13 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？
- 問14 地震において、最初の小さな揺れが始まってから、大きな揺れが始まるまでの時間を何という？
- 問15 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？
- 問16 地層ができた当時の年代を判断する手がかりとなる化石を何という？
- 問17 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 問18 ある地層がいつの時代にできたものかを知るために使われる、特定の時代にのみ生存していた化石を何という？
- 問19 火山岩の組織のうち、大きな結晶のまわりにある、小さな結晶が集まった部分のことを何という？

- 問1 火山が噴火し、地表付近で急激に冷やされた岩石の中で、比較的大きく育った結晶のことを何という？
- 問2 火山岩や深成岩において、結晶がほぼ同じ大きさで、すき間なく組み合わさっている結晶組織のことを何という？
- 問3 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？
- 問4 サンゴや貝の死骸が積み重なり、固まってできた岩石で、塩酸をかけると二酸化炭素が発生するものを何という？
- 問5 地震発生時に、最初の小さな揺れが始まってから、その後にくる大きな揺れが始まるまでの時間の長さを何という？
- 問6 川から海へ流れる水が急に広がる河口付近において、粒が最も大きいものから順に堆積していくが、その最初の成分を何という？
- 問7 地下の深い場所でマグマがゆっくりと冷えて固まり、等粒状組織を持つ深成岩の代表例として挙げられる、黒っぽい岩石を何という？
- 問8 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？
- 問9 サンゴや貝殻などの生物の死骸が堆積してできる、塩酸をかけると反応する物質を主成分とする岩石は何からできている？
- 問10 マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？
- 問11 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？
- 問12 火山岩のうち、白っぽい色をしており、安山岩や玄武岩などとともに分類される岩石の種類は何？
- 問13 地震発生時に観測地点へ先に到達する、最初の小さな揺れのことを何という？
- 問14 地震において、最初の小さな揺れが始まってから、大きな揺れが始まるまでの時間を何という？
- 問15 地下のマグマが地表に噴出し、急激に冷えて固まった岩石を何という？
- 問16 示準化石が地層に含まれることで、その地層が形成された当時の「いつか」を決定することができる。このことを何という？
- 問17 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？
- 問18 火山活動によって噴出し、広い範囲に短期間で堆積したため、地層の比較や対比に役立つ層を何という？
- 問19 マグマの中に溶け込んでおり、噴火の際に粘り気の強いマグマから抜けにくくなることで、爆発的な噴火を引き起こす原因となるものを何という？

- 問1 火山の噴火によって放出され、広範囲に短期間で堆積するため、地層の対比において重要な役割を果たす層を何という？
- 問2 地震による地面の揺れを感知し、その到着時刻や強さを記録するための観測機器を何という？
- 問3 火山が噴火し、地表付近で急激に冷やされた岩石の中で、比較的大きく育った結晶のことを何という？
- 問4 地震において、主要動の前に観測される最初の小さな揺れを何という？
- 問5 地震の波のうち、進行方向に沿って地面を押し引きする形で進む波を何という？
- 問6 マグマの性質を左右する成分の一つで、この割合が高くなると粘り気が強く流れにくくなる物質を何という？
- 問7 左右から押される力が加わることで、岩盤がずれてできる地形を何という？
- 問8 地震において初期微動を引き起こす、伝わる速さが速い波を何という？
- 問9 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 問10 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？
- 問11 噴火の際にマグマの気体が急激に膨張し、飛び散った破片が冷えて固まったものを総称して何という？
- 問12 砂や泥などが長い時間をかけて積み重なり、押し固められてできたものを何という？
- 問13 火山岩の組織のうち、大きな結晶のまわりにある、小さな結晶が集まった部分のことを何という？
- 問14 マグマの中に溶け込んでおり、噴火の際に粘り気の強いマグマから抜けにくくなることで、爆発的な噴火を引き起こす原因となるものを何という？
- 問15 地球内部で地震が起きた場所の真上にあり、地表に最も近い地点を何という？
- 問16 地下のマグマが地表に噴出し、急激に冷えて固まった岩石を何という？
- 問17 過去に繰り返し活動しており、今後も地震を引き起こす可能性のあるものを何という？
- 問18 堆積物が長い年月をかけて押し固められ、岩石になる過程のことを何という？
- 問19 マグマが地表付近で冷えてできる火山岩のうち、代表的な岩石として挙げられるものを一つ答えよ。
- 問20 サンゴや貝殻などの生物の死骸が堆積してできる、塩酸をかけると反応する物質を主成分とする岩石は何からできている？
- 問21 火山岩のうち、白っぽい色をしており、安山岩や玄武岩などとともに分類される岩石の種類は何？

- 問1 地震において初期微動を引き起こす、伝わる速さが速い波を何という？
- 問2 火山岩の斑状組織において、石基の中に含まれる、比較的大きく成長した結晶のことを何という？
- 問3 火山岩において、急激に冷えてできた小さな結晶とガラス質が混ざった構造を何という？
- 問4 マグマが冷えて固まった火成岩に含まれる、色が見つからない鉱物の代表格を一つ挙げよ。
- 問5 マグマが噴火によって空中に放出され、それが積み重なってできる、粒の角がとがった特徴を持つ岩石を何という？
- 問6 火山岩や深成岩において、結晶がほぼ同じ大きさで、すき間なく組み合わさっている結晶組織のことを何という？
- 問7 火山岩に見られる組織のうち、大きな結晶の部分を何という？
- 問8 地層ができた当時の、環境を推測するために役立つ化石を何という？
- 問9 サンゴや貝殻などの生物の死骸が堆積してできる、塩酸をかけると反応する物質を主成分とする岩石は何からできている？
- 問10 マグマが地下深くでゆっくりと固まることで形成される、白っぽい色調が特徴の代表的な岩石は何？
- 問11 火山灰層が地層の対比に役立つとき、特に基準となる地層を指して何という？
- 問12 流水が地表を削り取る作用を指す言葉は何か？
- 問13 マグマが地表付近で冷えてできる火山岩のうち、代表的な岩石として挙げられるものを一つ答えよ。
- 問14 火山岩のうち、白っぽい色をしており、安山岩や玄武岩などとともに分類される岩石の種類は何？
- 問15 短期間で広範囲にわたって積み重なるため、離れた場所の地層が同じ時期にできたものか比較する際、基準となる地層を何という？
- 問16 サンゴや貝の死骸が積み重なり、固まってできた岩石で、塩酸をかけると二酸化炭素が発生するものを何という？
- 問17 堆積物が長い年月をかけて押し固められ、岩石になる過程のことを何という？
- 問18 火山から勢いよく噴出した細かな破片が堆積し、長い時間をかけて固まってできた堆積岩のことを何という？
- 問19 浅い海に生息し、かつてその場所が温かい環境であったことを推測させるのに用いられる化石を何という？
- 問20 マグマが地下深くで時間をかけてゆっくり冷えて固まることでできる、粒の大きさがそろった組織を持つ岩石を何という？